

【谷川俊太郎（一九三一〜）】さんの詩は、小学校の教科書によく出てきます。六年生の教科書に「生きる」はずっとのっついて（国語の教科書を見てください。）、これを学習してから卒業するのです。

先生が教師になって始めて知った谷川俊太郎さんの詩。それは、「かっぱ」でした。

「かっぱ」 谷川俊太郎

かっぱかっぱらった

かっぱらっぱかっぱらった

とってちってた

かっぱなっぱかっぱ

かっぱなっぱいっぱかっぱ

かっぱきってくった

たったこれだけの詩ですが、どこで切ったらいいのか、速く言うのか、リズム良く言ったらいいのか考えます。手拍子して読んでもおもしろいです。

谷川俊太郎さんのことは遊びの詩は、学校ではたくさん使われています。声を出してリズムよく読むとたのしいです。そのような、言葉遊びの詩を、いくつか紹介します。

したもじり

こがもまごまごまごがももまごまご

そそうしたそしのせせつせとさするでし

くるまくるまにくるくるくるまくるまくるま

でまるまるくるめ

おやおやおやおやおやおやおやおやお

ないないづくし

まるには ひとも かどがない

えんしゅうりつは きりががない

かびたまんじゅう もったいない

よだれたらして みつともない

ほつかいどうなら わつかない

ふゆはさむいに ちがいない

いっぽんみちは あてどない

こいぬがいつびき あどけない

かねがないのは しかたがない

だけどなんだか たよらない

うらないちつとも あたららない

かえるはなぜか へそがない

けんかならこい

けんかならこい はだかてこい

はだかてくるのが こわいなら

てんぷらなべを かぶってこい

ちんぼこじやまなら にぎってこい

けんかならこい ひとりてこい

ひとりてくるのが こわいなら

よめさんさんにな つれてこい

のどがかわけば さけのんでこい

けんかならこい はしってこい

はしってくるのが こわいなら

おんぼろろけつと のってこい

きょうがだめなら おとこいこい

おならうた

いもくって ぶ

くりくって ぼ

すかして へ

ごめんよ ば

おふろで ぼ

こっそり す

あわてて ぶ

ふたりで ぴよ

ひと

ひと ひとり ひなたぼっこ
ひと ふたり ふとふりかえる
ひと さんにな さかもりだ
ひと よにな よにげして
ひと ごにな ごまのすりあい
ひと ろくにな ろうのなか
ひと しちにん しらんぷり
ひと はちにん ははをこい
ひと くにん くるしまぎれ
ひと じゅうにな じゅんれいにする

かぎしめうた

かぎしめ しめしめ
びじんの ながしめ
おしめ じめじめ
どろぼう みじめ
かぎしめ しめしめ
こんやは おにしめ
まえかけ しめしめ
どろぼう まじめ

きりなしうた

しゆくだいはやくやりなさい
おなかがすいてできないよ
ほつとけーきをやけばいい
こながないからやけません
こなはこなやでうってます
こなやはぐうぐうひるねだよ
みずぶつかけておこしたら
ばけつにあながあいている
ふうせんがむでふさぐのよ
むしばがあるからかめせん
はやくはいしやにいきなさい
はいしやはわいへいってます
でんぼううってよびもどせ
おかねがないからうてないよ
ぎんこうへいつてかりといで
はんこがないからかりられぬ
じぶんでほつてつくったら
まだしゆくだいがすんでない

かずかぞえ

いっぴきにひき ひきがえる
さんになよにな べんこにな
ごほんろつぽん まいくろほん
ななだいはちだい じどうしやだ
くだんじゆうだん はしごだん

いちがつ にかつ さんがつ…

いちがつ いはってる
いつとうとつたといはってる
にかつ にているな
にこにこふたご にているな
さんがつ さようなら
さみしいけれど さようなら
しがつは しらんかお
しつてくるくせに しらんかお
ごがつは ごりらです
ごめんください ごりらです
ろくがつは ろけつとだ
ろくじにうちあげ ろけつとだ
しちがつは しおこしょう
したであじみる しおこしょう
はちがつは はだかんぼ
はずかしいけど はだかんぼ
くがつは くさいなあ
くんくんおなら くさいなあ
じゆうがつは じゆうじろだ
じどうしやちゆうい じゆうじろだ
じゆういちがつ じかんかな
じぎにおやつの じかんかな
じゆうにがつ じゆうです
じぶんでやれる じゆうです